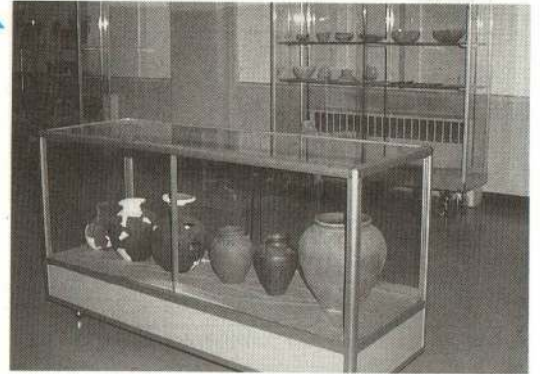


# 考古資料展示

## ～古代のロマンを訪ねてみませんか～

貴重な資料が公開  
されている展示室



大館市総合歴史センター（仮称）では、市内各地の遺跡から出土した考古資料を整理、展示しています。見学や歴史の学習においでください。

### 公開展示場所

旧県立大館東高校（釈迦内獅子ヶ森）

### 開館時間

9時～16時まで（ただし土・日曜日、祝祭日、年末年始は休館）

### 入館料

無料

センターでは、今年度秋田県文化財指定の山館上ノ山遺跡から出土した「鋒形石器」二個をはじめ、大館市指定文化財の松木高館平遺跡出土・旧石器時代の「ナイフ形石器」、大茂内塚ノ

下遺跡出土の「土偶」、花岡長森遺跡出土の「珠洲壺」など、およそ一万五千年前から江戸時代までの、大館の歴史を語る考古資料三百二十点を展示しています。そのほか、安藤昌益の晩年資料発見当時の「墓碑」拓本、江戸時代の「検地帳」、大館の呉服商「マルコ」の主人小野儀助の日記など、貴重な資料を見ることができます。

興味深げに資料に見入る観覧者。  
これは何に使ったのかな?!



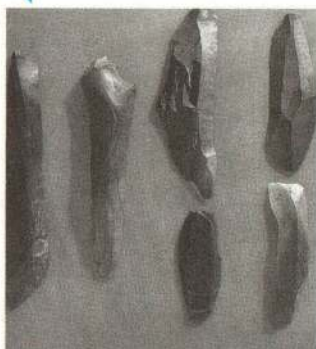
縄文時代前期中葉（紀元前3,000年ころ）の鋒形石器。半磨製・半打製の特殊な形をしています（県文化財）



すずつぼ 珠洲壺。平安時代末期から鎌倉時代初期のものです（市文化財）



旧石器時代（紀元前25,000年から同13,000年）の大型ナイフ形石器。（市文化財）



縄文時代後期前葉（紀元前1,500年ころ）の土偶。両眼には天然アスファルトが充填されています（市文化財）

